

特別事情具申手續

特別事情具申手続について

1 特別事情について

次のいずれかに該当する場合は、特別事情具申の手続が必要です。

- (1) 親権者、成年後見人又は未成年後見人以外の者が、成年後見人又は未成年後見人に準じる者として保護者となるため届出を要する場合
- (2) 転居等により、住所の届出を要する場合
- (3) 調整地域から入学志願するため許可申請をする場合
- (4) 府外居住者が入学志願するため許可申請をする場合

2 書類の提出期限

- (1) 盲学校及び聾学校へ志願する場合
令和5年12月27日（水）必着
- (2) 特別支援学校（盲学校及び聾学校を除く。）へ志願する場合
令和5年12月27日（水）必着
- (3) 特別支援学校高等部職業学科へ志願する場合
令和5年12月27日（水）必着

3 提出先

京都府教育庁指導部特別支援教育課

（〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府庁 第3号館4階）

4 手続の流れ

	＜保護者＞	備 考
① 書類 準備	各種届・申請書に必要事項を記入 添付書類の整備	74ページ以下の様式をコピーするか、京都府教育庁指導部特別支援教育課のホームページに掲載している様式を印刷して使用すること。
② 手続	<p>＜特別事情具申手続＞</p> <p>1 保護者の住所の存する都道府県教育委員会（政令指定都市にあつては、当該市教育委員会とし、京都府内においては、住所の存する市町（組合）教育委員会とする。2において同じ。）を経由して京都府教育委員会教育長へ提出するものとする。</p> <p>2 住所の存する都道府県教育委員会は、京都府立特別支援学校入学志願について（依頼）（第1号様式の1）に、それぞれ書類を添えて、京都府教育庁指導部特別支援教育課へ提出するものとする。</p>	京都府立盲学校高等部保健医療科、音楽科及び専攻科を志願する者で、私立及び国立の高等学校及び高等部を卒業した場合は、京都府立特別支援学校入学志願について（依頼）（第1号様式の2）に、それぞれ書類を添えて、各校から京都府教育庁指導部特別支援教育課へ提出するものとする。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>＜教育委員会等＞ ※受理又は許可をする場合には、受理書又は入学志願許可書を郵送</p> </div>		
③ 受領	受理書又は入学志願許可書を受領 願書提出	受領後、受理書又は入学志願許可書を願書に添付すること。

事 情	<p>1 親権者、成年後見人又は未成年後見人以外の者が、成年後見人又は未成年後見人に準じる者として保護者となるため届出を要する場合</p> <p>(1) おじ、おば、祖父母等が保護者となる場合 (2) 他家の養子となった子について、実親が保護者となる場合 (3) 養子縁組届が審査中であって、養親になろうとする者が保護者となる場合 (4) 認知の父が保護者となる場合 (5) 離婚の際に親権者とならなかった方の父又は母が保護者となる場合 (6) 師僧（華道等の家元を含む。）が保護者となる場合</p>	
手 続	提出書類	<p>○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ) ○京都府立特別支援学校入学志願者の保護者届 第2号様式(76ページ)</p> <p>(添付書類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者となる者と志願者の続柄が確認できる資料（例えば、住民票記載事項証明書（続柄の記載があること。）等） ・返信用封筒（長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ったもの） ・親権者、成年後見人又は未成年後見人がある場合はその同意書（様式例72ページ）（上記1(2)の場合は不要）
	提出先	京都府教育委員会教育長

注

- 1 親が単身赴任している場合で、本人と府内で同居しているもう一方の親（親権者）を保護者として出願するときは、この手続は不要。
- 2 父母が離婚し、保護者（親権者）が、復氏により志願者と姓が異なる場合は、その旨を記した中学校長の副申書（77ページ）を入学願書に添付することをもって足り、この手続は不要。
- 3 上表(1)～(5)に該当する場合でも、中学校在学中（少なくとも第2学年修了後の期間）保護者であった者が、特別支援学校高等部入学後も引き続き保護者となるときは、その事情を記した中学校長の副申書（77ページ）を入学願書に添付することをもって足り、この手続は不要。
- 4 成年後見人及び未成年後見人に準じる者の範囲は、志願者の在学期間中監護及び教育を行うについて正当な理由がある者に限られる。
- 5 児童相談所を通じて施設に入所している志願者等について当該施設の長や里親等が保護者となる場合、この手続は不要だが、願書に保護者が施設の長や里親等であることが分かるように記載すること。
- 6 施設に入所している志願者等が、措置解除等により親権者のもとに戻る場合の手続きについては、特別事情具申2（71ページ）を参照すること。

事 情	2 転居等により、住所の届出を要する場合	
	(1) 保護者の住所が入学日までに府の区域内に変更する者 ア 他の都道府県から府内へ イ 外国から府内へ (2) 保護者の住所が、入学日までに府の区域内において変更する者のうち当該学科等の通学区域を越えて住所を変更する場合	
手 続	提出書類	○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ) ○京都府立特別支援学校入学志願者の住所に関する届 第3号様式(80ページ) (添付書類) ・転居先住所又は生活の本拠を確認できる資料(資料例は以下のとおり) 持家への転居：家屋に係る固定資産税納入通知書及び明細書・ 家屋評価証明書等の写し 等 家屋を新築又は購入し転居：家屋に係る売買契約書の写し 等 借家・社宅等への転居：賃貸契約書の写し、社宅の入居証明書 等 ・返信用封筒(長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、 84円切手を貼ったもの)
	提出先	京都府教育委員会教育長

注

- 願書提出時において既に転居しているが、許可を受けて通学区域外の中学校に引き続き就学している場合は、この手続は不要だが、区域外就学に係る許可証等の写しを入学願書に添付すること。
- 保護者の住所は府内にあるが、保護者の元を離れて通学区域外又は他府県に所在する私立中学校等に就学している場合は、この手続は不要だが、その旨を記した中学校長の副申書(82ページ)を入学願書に添付すること。
- 親が単身赴任等で府内に住居を有し、志願者は家族の他の者とともに中学校卒業後この住居へ転居する場合及び施設に入所している志願者等が、措置解除等により親権者のもとに戻る場合の手続きについては、特別事情具申手続は不要だが、事前に住所確認手続きを行うこと。手続にあたっては、副申書(82ページ)を作成し、府内の住所が確認できる資料(特別事情具申手続に必要な上記添付書類に準じる。)とともに特別事情具申手続期間中に京都府教育委員会へ郵送し、あらかじめ住所の確認を得ること。住所確認を得た副申書は入学願書に添付すること。
- 過年度卒業者で、学校卒業後転居した場合は、事前に住所確認手続きを行うこと。手続にあたって副申書(82ページ)を作成し、府内の住所が確認できる資料(特別事情具申手続に必要な上記添付書類に準じる。)とともに特別事情具申手続期間中に京都府教育委員会へ郵送し、あらかじめ住所の確認を得ること。住所確認を得た副申書は入学願書に添付すること。
- 転居先住所又は生活の本拠を確認できる資料において、家屋の所有者・契約者等が保護者と異なる場合(例えば、保護者の実家に転居する場合で保護者の父母等が家屋の所有者であるとき)は、原則として、所有者・契約者等の同意書(様式例83ページ)が必要であること。また、家屋の所有者が複数名いる場合は、家屋の所有者全員の同意書(様式例83ページ)が必要であること。
- 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる場合は、この手続は不要だが、区域外就学に係る許可証の写し又は中学校長の副申書を入学願書に添付すること。

事情	3 調整地域から入学志願するため許可申請を要する場合 調整地域（21ページ）から八幡支援学校、井手やまぶき支援学校及び丹波支援学校高等部普通科を志願する場合 ※21ページ 注2③、注3に該当する場合	
手続	提出書類	○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ) ○京都府立特別支援学校入学志願許可申請書 第4号様式(85ページ) (添付書類) 返信用封筒（長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ったもの）
	提出先	京都府教育委員会教育長

事 情	4 府外居住者が入学志願するため許可申請を要する場合 盲学校高等部保健理療科、音楽科及び専攻科 聾学校高等部京都アート科及び情報科	
	手 続	○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ) ○京都府立特別支援学校入学志願許可申請書 第4号様式(85ページ) (添付書類) 返信用封筒(長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、 84円切手を貼ったもの)
提出先		京都府教育委員会教育長

注1 京都府立盲学校高等部専攻科を志願する者で、私立及び国立の高等学校及び高等部を卒業した場合は、第1号様式の2(75ページ)を作成すること。

注2 中途障害により、出身中学校や住所の存する都道府県教育委員会が、学校教育法施行令(昭和28年政令第340号)第22条の3に規定する程度の障害を確認できない場合は、証明する眼科診断書(国立病院、大学病院、地域医療支援病院の眼科医に記入を依頼)を添付すること。

番 号
令和 年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

教育委員会教育長

印

京都府立特別支援学校入学志願について(依頼)

注1

下記の生徒が、京都府立 学校 部 科への入学を希望して
いますので、出願が許可されるようお願いします。

記

志願者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
	在学(出身)学校名	
保護者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
出願の理由		

注1 志願先の学校名、部及び学科名を記入すること。

第1号様式の2

番 号
令 和 年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

学校長

印

京都府立特別支援学校入学志願について(依頼)

注1

下記の生徒が、京都府立 学校 部 科への入学を希望して
いますので、出願が許可されるようお願いいたします。

記

志願者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
	在学(出身)学校名	
保護者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
出願の理由		

注1 志願先の学校名、部及び学科名を記入すること。

年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

保護者となる者の氏名 ㊟

就学希望者の氏名

在学(出身)中学校名

注 「保護者となる者の氏名」欄について、保護者となる者が自署
の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

京都府立特別支援学校入学志願者の保護者届

私は、令和6年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等入学希望者募集要項3志願者の資格により、保護者(就学希望者の成年後見人又は未成年後見人に準ずる者)となるので届け出ます。

記

1 就学希望者の住所

2 保護者となる者の住所

3 連絡先

4 就学希望者との関係及び届出の理由 電話 ()

5 志望特別支援学校

学校名	学部・学科名

副 申 書

(特別支援学校入学志願者の保護者届用)

就学希望者の氏名 _____

在学(出身)中学校名 _____

具体的な事情等を記入してください。

京都府内の保護者となる者の住所及び氏名

住所 _____

_____ (電話) _____

氏名 _____

上記のとおり副申します。

年 月 日

在学中学校担任氏名 _____

在学中学校長氏名 _____ 印

注1 特別支援学校入学志願者の保護者届(第2号様式)を提出する際にこの副申書を添付してください。

2 「在学中学校担任氏名」及び「在学中学校長氏名」欄は就学希望者が中学校を既に卒業している場合は記入不要です。

(様式例)

同意書

私、（親権者等）は、（保護者となる者）が、

（志願者）の特別支援学校入学後の保護者となることに同意します。

年 月 日

保護者となる者の住所

保護者となる者の氏名

親権者等住所

親権者等氏名

㊞

(様式例)

京都府立特別支援学校入学志願許可書

志願者氏名

保護者氏名

下記のとおり、令和6年度京都府立
入学志願を許可します。

学校高等部

科

令和 年 月 日

京都府教育委員会
教育長 前川 明範

記

番 号		出願先の学部・学科名	
志 願 者	住 所		
保 護 者	住 所		
保護者氏名		志願者と保護者との関係	
特別の事情			

注1 もし、事実に相違がある場合は、入学を取り消します。

注2 入学願書に添えて本許可書を出願先学校長に提出してください。

年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

保護者氏名 _____ 印

志願者氏名 _____

志願者と保護者との関係 _____

在学(出身)中学校名 _____

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

京都府立特別支援学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立特別支援学校 に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。

記

1 届出の理由

- (1) 転居（ 府内の転居、 他の都道府県から府内への転居、 外国から府内への転居）
- (2) 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

説明（転居する者、転居日など詳しく記入してください。）

2 届け出る住所（1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地）

保護者： _____

志願者： _____

3 現住所等（1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所）

保護者： _____ 電話 _____（_____）

志願者： _____

4 志望学校

学 校 名	学部・学科等

証 明 書

上記の事情に相違ないことを証明します。

上記の事情に相違なく、（ _____ ）都道府県 公立学校に入学を志願しないことを証明します。

年 月 日

在学（出身）中学校長氏名 _____ 印

在学（出身）中学校所在地 _____
電話 _____（_____）

特別事情具申記入例

第3号様式

令和6年1月×日

京都府教育委員会教育長 様

保護者氏名 奈良 一郎 ㊟
 志願者氏名 奈良 学
 志願者と保護者との関係 父
 在学(出身)中学校名 奈良市立△△中学校

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合については、保護者印を押印してください。

特別支援学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立特別支援学校に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。

該当個所に「レ」を記入する。 記

1 届出の理由

- (1) 転居 (府内の転居、 他の都道府県から府内への転居、 外国から府内への転居)
- (2) 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

いつ、どこに、誰と、転居するのかを記入する。

説明 (転居する者、転居日など詳しく記入してください。)

現在、奈良市内に居住していますが、父親の転勤に伴い、3月下旬に亀岡市内の賃貸物件に一家で転居する予定です。

2 届け出る住所 (1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地)

保護者: 亀岡市△△町××番地

志願者: 保護者に同じ

賃貸物件や借家等の契約書等に志願者の名前が記載されていない場合は同意書(83ページ)を貸主に作成してもらうこと。

3 現住所等 (1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所)

保護者: 奈良市△△町××番地

電話 0742 (××) ××××

志願者: 保護者に同じ

学 校 名	学 部 ・ 学 科 等
■ ■ 支援学校	高等部普通科

証 明 書

該当個所に「レ」を記入する。

上記の事情に相違ないことを証明します。

上記の事情に相違なく、(奈良)都道府県 公立特別支援学校に入学を志願しないことを証明します。

令和6年1月×日

奈良市立△△中学校

校長 平城 步 印

在学(出身)学校長氏名

在学(出身)学校所在地

奈良市△△町□□番地

電話 0742 (〇〇) 〇〇〇〇

他府県から府内への転居の場合は、下段の口にしを記入し、()の中に保護者が現在居住している都道府県を記入すること。

副 申 書
(住所確認・過年度卒業者の転居用)

就学希望者の氏名 _____

在学(出身)中学校名 _____

具体的な事情等を記入してください。

京都府内の保護者住所及び氏名

住所 _____ (電話) _____

氏名 _____

上記のとおり副申します。

年 月 日

在学中学校担任氏名 _____

在学中学校長氏名 _____

印

証 明 書

上記の事情に相違なく、() 都道
府県 公立学校に入学を志願しないことを証明します。

在学(出身)中学校長氏名 _____

印

上記のとおり確認します。

年 月 日

京都府教育庁指導部特別支援教育課長

印

- 注1 保護者のみが単身赴任等により京都府内に住居を有し、中学校卒業後志願者がこの住居へ転居する場合はこの副申書を使用してください。この場合、**特別事情具申の期間中に京都府教育委員会まで府内の住所を確認できる資料を併せて郵送提出し、確認を受けてください。**
- 2 過年度卒業で中学校卒業後に転居した場合、この副申書を使用してください。この場合、**特別事情具申の期間中に京都府教育委員会まで府内の住所を確認できる資料を併せて郵送提出し、確認を受けてください。**(中学校長の副申欄の記入は不要です。)
- 3 「証明書」欄について、京都府内の中学校を卒業(見込)の者は不要です。

(様式例)

同意書

下記の者が、私の所有する住居に居住することに同意します。

年 月 日

所有者（又は契約者）住所

所有者（又は契約者）氏名

⑩

記

1 住居の所在地

2 居住開始年月日

年 月 日

3 居住する者の氏名

氏 名	所有者からみた関係

(様式例)

受 理 書

志願者氏名

保護者氏名

上記の者の令和6年度京都府立特別支援学校入学志願に当たって、特別支援学校入学志願者の（保護者届・住所に関する届）を受理したので証明します。

令和 年 月 日

京都府教育委員会
教育長 前川 明範

記

番 号		出願先の学校名 学部・学科名	
志願者の	新(転居後) 住所		
	現住所		
保護者の	新(転居後) 住所		
	現住所		
保護者氏名			志願者と保護者との関係
特別の事情			

注1 もし、事実に相違がある場合は、入学を取り消します。

注2 入学願書に添えて本許可書を出願先学校長に提出してください。

京都府立特別支援学校入学志願許可申請書

在学(出身)学校名 _____

志願者氏名 _____

志願者生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者氏名 _____ ㊟ 注1

注2

下記のとおり、京都府立 _____ 学校 _____ 部 _____ 科に出願したいので、事情審査の上、許可されますよう申請します。

年 _____ 月 _____ 日

京都府教育委員会教育長 様

記

志願者	現住所	
	入学後の住所(予定)	
保護者	現住所	
	入学後の住所(予定)	
	緊急連絡先(電話番号)	
出願の理由		

注1 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

注2 志願先の学校名、部及び学科名を記入してください。

注3 第4号様式(表)及び第4号様式(裏)は、両面刷りしてください。

第4号様式(裏)

在学(出身)学校長の証明

申し出の事情に相違なく、やむを得ないものと考えられますので、次のとおり副申します。

令和 年 月 日

学校名
校長名

印

校長所見

(様式例)

京都府立特別支援学校入学志願許可書

志願者氏名

保護者氏名

下記のとおり、令和6年度京都府立
入学志願を許可します。

学校高等部

科

令和 年 月 日

京都府教育委員会
教育長 前川 明範

記

番 号		出願先の学部・学科名	
志 願 者	住 所		
	入学後の住所		
保 護 者	住 所		
	入学後の住所		
保護者氏名		志願者と保護者との関係	
特別の事情			

注1 もし、事実と相違がある場合は、入学を取り消します。

注2 入学願書に添えて本許可書を出願先学校長に提出してください。